

日本医療検査科学会 一般検査委員会議事録

【日時】 2026 年 5 月 9 日(土) 15 時 20 分～16 時 20 分

【場所】 九州大学病院地区キャンパス 第2薬局棟 会議室2

【参加者】 宿谷 賢一、横山 貴、堀田 真希、石澤 毅士、川満 紀子、神山 恵多、鈴木 清江、
田中 雅美、下澤 達雄、脇田 満、大島 知樹(栄研)、池上 孝徳(シーメンス)、福田 功(アークレイ)
菊池 春人、高山 知子

(敬称略)

【議 題】

1、一般検査委員会の名簿について

- ・変更があれば宿谷委員長まで連絡をお願いします

2、ポスターセッションについて

石澤委員より発表内容の説明があった

- ・ 定性検査の問題点については、各メーカーの協力が必須である
目視判定の精度管理など時間をかけて取り組む必要がある
- ・ JLAC11 における尿沈渣検査項目の標準化(コード化)については、不足している附番、重複しているコードがあることがわかった
どのように修正していくかは関連学会と協力して取り組む必要がある
成分のコード化よりは報告形式・単位についての問題が大きい
検査結果の広域使用ができないことが問題点である

3、第58回大会のテーマについて

尿沈渣検査の標準化をテーマにしたい

成分のコード化(JLAC11)

報告単位の統一

検出限界について(<1の定義または解釈について、装置から出力される結果(なしの場合の表記)が設により異なる)

ビックデータ解析していくには、現状の把握や変換表が必要になるのでは(これらを検討していく)

4、その他

尿定性検査については今後も継続審議とし対応策を考えていく

確認検査については学会でマニュアルなどの冊子を作成し発刊するのはどうか